

研究会の今後のあり方について

失業の周辺を含めて研究テーマを幅広く

労働条件と環境、社会環境と制度と文化、経済、政治、など

“失業と健康”研究会は 2000 年 12 月に発足以来 10 回を迎え、今回 11 回目の新世紀に入ったことを契機に、新方針を検討した。今後は失業に限らず、失業をもたらす周辺の事情を含めて研究テーマに取りあげて討議することになった。

“失業と健康”問題では社会構造を考慮することが大切で、年齢層、労働市場、経済状況、社会保障、文化、教育、家族の役割などがある。失業者の健康保持では社会的援護が大切である。近年の労働条件や労働環境の変貌では downsizing によって労働者数減少による労働過剰ないしは過重労働、転職や新企業での新たなストレス問題、賃金減少で家庭経済力が低下するなどによって健康障害が生じ、社会病理がでる。これらの社会的問題も取りあげていく。

第 11 回研究会 レポート①

「生活・慣行・労働法律相談からみた失業者の健康」田村昭彦（九州社会医学研究所）

家庭経済の危機で再就職を望む

自己退職では職場の“いじめ”が問題

ハローワークを訪れた失業者を対象にアンケート調査を行った。過去 3 回行い、初回の男性 39 名、女性 16 名の分析結果を示す。アンケート回答者は 50 歳代をピークに 20～60 歳であった。バイアスとしては失業保険金を受け取りに来た者のみであること、零細企業退職者が多く、繰り返し失業経験者がいること、期間が限られていることであった。

失業期間は 3 ヶ月をピークに長期者が多く、1 年以上が 25% いた。ハローワークでの採用申し込み企業に健康保険がない企業があり、再就職しても健康保持支援策が無いことになる。国民健康保険に加入していない者が約 2 割いて、糖尿病で治療を中断している人では血糖値が 500mg/dL を越えている例があった。今回の調査を通じて全員が早期の再就職を希望し、家庭経済の危機からの脱出が第 1 であった。また職場には「いじめ」があり、退職理由の「自己都合」には残業してもタイムカードが仕舞われていて残業手当の支給がない、指導という名のもとでの嫌がらせがあって、退職願での「一身上の都合」には分析が大切であることがわかった。

第11回研究会 レポート②

「北九州におけるホームレスの健康支援」 田村昭彦 (九州社会医学研究所)

ホームレス対策は失業対策の一環

ホームレス数と失業率の間には正相関がみられた。ホームレスは50～64歳が多く、理由の半数は倒産による失業とリストラによる退職が第一で、病気・けが・高齢で仕事が出来ない、経済的困難で家賃が払えない、ローンが払えない、などが続いた。

自立支援センターへの入所者50名の健康診断の結果、有所見者は94%で生活習慣病が多かった。肥満者もいて、食事入手経路で決まっていた。入所前にハンバーガー店から食事を入手する、コンビニから入手する、などで異なっていた。入所者の摂取カロリーは2300kcalと多かった。土木建設作業員ではC₅dipが多かった。高血圧、糖尿病、心電図異常、肝障害、が目立った。

一度ホームレスになると離脱が難しいことが判明した。再就職、借家するにも現住所が必要で、彼らにはない。行政の方策として現住所を市役所などに設定する事も考慮すべきであろうという意見があった。

討議のなかでは、心情的に働きたいという意欲の者では公園の整備や掃除、放置自転車の整理、住んでいる駅のトイレの掃除など、身近なことで仕事を与える事が大切との意見があった。

ホームレスの問題も失業後のひとつの流れと見なすことが出来る。社会支援では後向き策ではなく積極策が大切で、健康教育や生涯教育も支援策の一つに取り入れる必要がある。

◆2005年開催予定の関連する国際会議：

* 第2回 ICOH 仕事とストレスに関する国際カンファレンス、
8月23 - 26日、岡山 <http://www.wops2005.jp>

* 失業、パート労働、不法就労にみる健康影響：発展国・発展途上国の問題に関する国際カンファレンス、10月13-14日、イズミル（トルコ国）
<http://web.deu.edu.tr/halksagligi/ICOH.htm>

◆第12回研究会（次回）は、05年6月11日（土曜日）14:00—17:00です。

* 予定プログラムは

〔1〕 レクチャー「労働環境の変貌と健康」

的場 恒孝（新古賀病院学術顧問）

〔2〕 「外来でみる職場メンタルヘルスの特徴」

児玉 英資（宮の陣病院副院長）

* 会場は久留米大学医学部・基礎2号館1Fセミナー室です。

ぜひ、ご参加ください。

◆本誌 “News Letter” を入用の方は、お知らせ下さい。

世話人：的場恒孝（代表）・高田和美・酒井 淳・石竹達也・山岡春夫・児玉英嗣

[事務局] (〒830-0011) 福岡県久留米市旭町67 久留米大学医学部環境医学教室内

“失業と健康” 研究会

Fax: 0942(31)4370 Tel: 0942(31)7552 E-mail: kankyo@med.kurume-u.ac.jp

お知らせ